

# 観光技術検討会での開発技術の研修

2023年

④10月19日 ③8月17日 ②7月20日 ①6月15日

JTREC鈴木作成

# 1. 観光技術検討会での技術研修の進め方

今年度はJEC観光部会の中で、観光技術検討会（委員長：板垣和芳氏）を開催するが、その中で下記のような事項に関して基本的な理解を得るための研修を行うことにしたい。

この目的は開発されたEPsの技術仕様に関して、実務推進者（ソフト開発者及び事業者）を対象としてJTRECとして開発指導が可能なコンサルティング能力を向上するものとする。

研修は基本的に毎回30分を目途とする。

この研修は参加希望者を集めて行うこととする。

この研修は下記の2部に分けて推進したい。

A 一国連CEFACTの開発手順（鈴木担当） 一体験プログラム(EPs TAを例題)

B 一国連CEFACTが新たに推進するAPI技術の活用（検討会の委員が分担）

# 研修内容とスケジュール

番号	項目	実施予定日	担当者	記事
1	ODP (Open Development Procedure), BRS (Business Requirements Specification) 記述	6月15日	鈴木	
2	Use Case☒、Activity☒	6月15日	鈴木	
3	Class☒	7月20日	鈴木	
4	Business用語集	7月20日	鈴木	
5	Code表	8月17日	鈴木	
6	Core Components Technical Specification	10月19日	鈴木	
7	BIEsとCCL, XML Naming and Design Rules	11月16日	鈴木	
8	API (Restful API)	12月21日	分担	
9	JSON LD	1月18日	分担	
10	JSON Schema and Open API NDR(Naming and Design Rules)	2月15日	分担	

# 第1回（6月15日）から第4回（10月19日）

実施予定日	実施したこと又は実施予定	何らかの事情で未実施の事項内容
①6月15日	1.ODP（Open Development Procedure）	2.BRS（Business Requirements Specification）記述 2.Use Case図、Activity図
②7月20日	1.復習（板垣氏のODPの日本語訳説明） 1-1.BRS（Business Requirements Specification）記述 2.Use Case図、Activity図 3.Class図 4.Business用語集	
③8月17日	1.BRS復習 Core Components Technical Specifications（板垣氏の日本語訳から） 2.Class図の復習 3.Code表	
④10月19日	1. Core Componentsと技術仕様について 2. CCとBIEについて	

10月19日実施（8月17日研修分一復習）

## 5. Code表

1) Code表の作成 4.Business用語の作成から検討開始

BIE表のBBIEで、Representation TermがCodeになるものに対応

2) コードの例

Pet Animal Category Code

- 1 Dog
- 2 Cat
- 3 Bird
- 4 Rabbit
- 5 Mouse

3) TT&L Code List (EDIFACT) の存在と管理

これまでの経緯（Batch EDIとInteractive EDIとの差）でT/T Domainでは、UN/EDIFACTの時代から例外的にしかも独自にコード管理を行ってきた。

（EDIFACTの時代は、基本方針としてコードの管理は一元的に国連コード管理部門が担当してきた。）

## 5-1 Codeの管理

新たなCode List の管理

- 1) EPs対応のCode List ーーー > 開発を実行済。今後維持更新を行う必要がある。
- 2) EDIFACT対応のCode Listーーー > T/T Domainが維持管理を実施中。これはBatch EDIとInteractive EDIの歴史的な経緯があって独自管理(この時点では非公認)とした。そのために下記3)に記した手続きはできていない。
- 3) ebXMLになってコードの管理方法が変更。下記のことが可能になった。  
コードを持つものは、独自にコード管理組織(Code Control Agency)を設立し、UN/CEFACTの承認を得ることで、独自のコード体系を持つことが可能。

なお、Code. Typeでは下記のSupplementary Componentsを持つ。

Code List. Agency. Identifier, Code List. Agency Name. Text, Code List. Name. Text, 等

- 4) T/T Domainとしては、従来の経緯を考慮し独自の管理を行うことが良いと考える。  
このために、早い時点で下記の対応が必要である。
  - a. Code Control Agencyの設立  
UN/CEFACTの外部に持つか、何らかの方法で内部に持つか要検討。
  - b. UN/CEFACTの承認取得

## 6. Core Components Technical Specification

(本資料は8/17の研修で板垣さんが紹介)

- 1) Core Component(CC-コア構成要素) とは—参照別ページ
  - a. Basic Core Component
  - b. Aggregate Core Component
  - c. Association Core Component
  
- 2) 国連CEFACTが開発したCCの数量— 約9,000項目
- 3) CCはどこにあるのか— CCLに存在
- 4) CCを現実に使用するときには—参照別ページ  
CCをBIE (Business Information Entity—業務情報項目) に
- 5) CCに関する国連CEFACTの技術仕様は—参照別ページ  
Core Components Technical Specification-Part 8 of the ebXML Framework (参照—板垣さんの8/17の説明)
- 6) CCL (Core Component Library—共通辞書) の構成と利用—参照別ページ

# 6-1 CCとBIE

BIE (Business Information Entity)

現実の利用局面で使用する。CC (Core Component) を修飾することで実現。

「修飾する」 (qualify) ということは、(参照別ページ)

a. Basic Business Information Entity (BBIE)ー

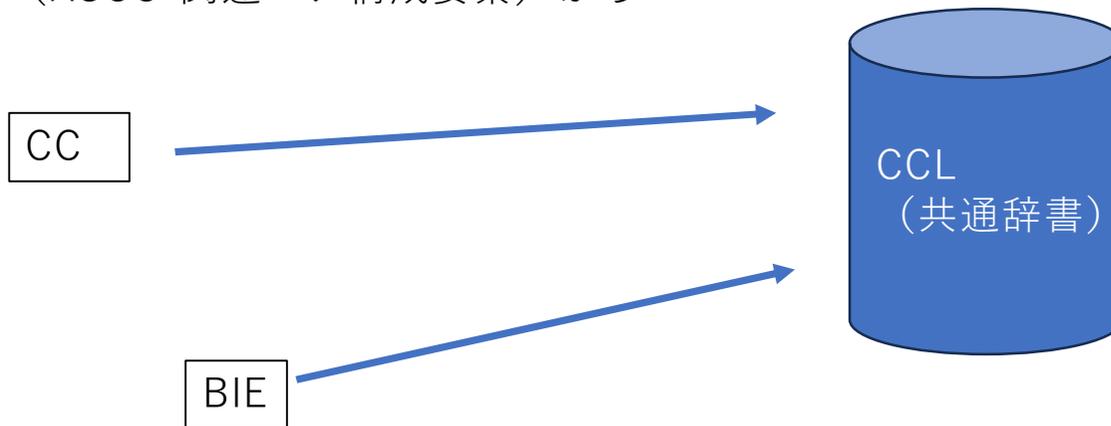
Basic Core Component (BCC-基本コア構成要素) から

b. Aggregate Business Information Entity (ABIE)ー

Aggregate CC (ACC-集約コア構成要素) から

c. Association Business Information Entity (ASBIE)ー

Association CC (ASCC-関連コア構成要素) から



## 6-2 例示 (CCとBIE)

### CC

ACC Animal. Details  
BCC Animal. Category. Code  
BCC Animal. Allowed. Indicator  
BCC Animal. Restriction. Text  
BCC Animal. Description. Text

ASCC Person. Accompanying. Animal

① CCはCCLに登録が必要

### Note:

BRS (Business Requirements Specification)  
作成時は、業務要件の検討が中心。

今回は Pet Animal として検討。

### BIE

ABIE Pet\_Animal. Details  
BBIE Pet\_Animal. Category. Code  
BBIE Pet\_Animal. Allowed. Indicator  
BBIE Pet\_Animal. Restriction. Text  
BBIE Pet\_Animal. Description. Text

ASBIE Guest\_Person. Accompanying. Pet\_Animal

- ① 実務ではBIEを使用する。
- ② BIEはCCを修飾して利用する。

CC及びBIEをCCTSに従って形式を定める時は、CCLに登録時。  
或いは、RSM (Requirements Specification Mapping) を作成する場合。

## 6-3 CCLでの登録内容 (CCLの登録の形式と内容)

ADD/CHG/D EP/WDR	Unique UN Assigned ID	ABIE/ BBIE/ ASBIE/ACC/B CC/ASCC/DT/ CC/SC	Dictionary Entry Name (auto generated)	Definition Mandatory	Working comments and instructions	Publication comments
---------------------	--------------------------	--	---	-------------------------	--------------------------------------	----------------------

ここに記したファイル容量が大きいために削除しました。この内容は UNCEFACTのWebサイトでCCL 23Aを参照してください。

## 6-4 API研修分担担当者の決定

番号	項目	実施予定日	担当者
8	API (Restful API)	12月21日	担当者
9	JSON LD	1月18日	担当者
10	JSON Schema and Open API NDR(Naming and Design Rules)	2月15日	担当者